

保育研修アンケート結果

①子どもの心の成長

- ・不適切と思える行動よりも子どもが望んでいる事を先に共感してあげる事で子どもに安心してもらい信頼を得ることが出来る。信頼を得てから不適切な行動を説明すること。それが子どもの脳に入りやすいことが参考になった。
- ・泣く事の重要性。泣きやませることに必死になるが、泣く権利があることが参考になった。
- ・大人の思いとは違う子どもの権利に意識を持つ。つい先回りしてしまうのでまずは子どもの行動を見守る事。
- ・目に見えることに注目するのではなく見えない所に注目する事が大切だということを学んだ。相手に寄り添い共感する事伝え合うことが重要だと思った。
- ・今後の自分の実践の参考にしていきたい。今までの自分の行動の振り返りになった。
- ・子どもの心を言語化して接することが大切だと思った。脳の発達に合わせた声掛け接し方をしていきたいと思った。
- ・「助けて」と言えることが自立につながることに実感した。中学生の子どもの支援もしていてなかなかHELPを出せない子どもが多いので自分が言いやすいと思える環境を作っていきたい。
- ・乳幼児期のコミュニケーションの重要性。子ども時代の大人からの声掛けが大きくなってからも影響することがわかり言葉の選び方に気を付けていきたいと思った。

②父親母親のメンタルヘルス

- ・長い家族関係の慣れのせいでお互いを思いやる気持ちも足りなく自分として気を付けていた「Iメッセージ」ですが更に「あなたはそれをどう思うのか？」という問いかけとお互いの妥協点を話し合うコミュニケーションも大切なんだと改めて思った。
- ・父親の産後うつが5人に1人に驚いた。特に父親学級に参加していた人に症状が強く出る事にも驚いた。
- ・お互いの行動を可視化することも大事と知った。
- ・産後の環境の変化で不安を抱えるのは当たり前のものでその不安を払っていくためには夫婦間のコミュニケーション、友人や周りの人とのコミュニケーションが大事だと分かった。
- ・彼氏・彼女→夫・妻→父・母となる。それぞれの役割が変化の中で様々な心理的葛藤が生まれる身体の変調も見られることもあることを知った。
- ・自分がして欲しいこと、相手にどんな影響が出るかを夫婦で表現することの大切さを学びました。
- ・制度はあっても男性の育休復帰後の環境（精神面）がまだ整っていない。育休を使うことでその分の仕事を引き受ける職場の環境も整えないと本当の意味で安心して男性の育児休暇は難しい気がする。
- ・母親だけでなく父親にも不安や弱音を吐き出す場所が必要だと思った。
- ・今まで母親だけに声をかけていたがこれからは父親にも声をかけようと思った。
- ・二人がゆっくり話せる時間が作れるように何か支援が出来たらよいなと思った。
- ・可視化して自分の大変な時間やこれを手伝って欲しいと伝えるのは有効的だと思った。ただこの時に相手の気持ち「あなたはどう思うか？」を一緒にきくのが大切と知った。

③スマホ時代と乳幼児の子育て

- ・与えてはだめではなく何を減らすかを考えること。
- ・乳幼児にスマホ本体を見せない事が大事だと思いました。
- ・スマホがなぜ？乳幼児に良くないと言われているかをダメという否定文でなく丁寧に伝える必要がある。
- ・せめて自分たちは保育の場で触れ合いを大事にしていきたい。
- ・今は影響がないと思っていてもこれが5年後10年後に依存性が出てくると怖いなと思った。
- ・外でスマホを使うのは子どもがうるさい、泣く、動き回るといふ子供らしいことが社会で敬遠されているからママはスマホをみせるしかないのではと思う。子どもに優しい社会であってほしい。